

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公開番号】特開2012-191666(P2012-191666A)

【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報2012-040

【出願番号】特願2012-143149(P2012-143149)

【国際特許分類】

H 04 W 52/10 (2009.01)

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 J 1/00 (2006.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 J 99/00 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 4 3 3

H 04 Q 7/00 5 4 4

H 04 J 1/00

H 04 J 11/00 Z

H 04 J 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のシステム周波数帯域を用いて、該システム周波数帯域毎に送信データを送信するときの送信電力を制御して、該送信データを送信する無線通信装置であって、

前記複数のシステム周波数帯域を用いて同時に前記送信データを送信するときの第1の最大送信電力が、一つのシステム周波数帯域を用いて前記送信データを送信するときの第2の最大送信電力よりも低くなるように低減量を設定すると共に、該第1の最大送信電力が、該第2の最大送信電力を超えないように、該第1の最大送信電力を制御する送信電力制御部を備えることを特徴とする無線通信装置。

【請求項2】

前記送信電力制御部は、前記低減量を用いて、前記第1の最大送信電力を制御することを特徴とする請求項1に記載の無線通信装置。

【請求項3】

複数のシステム周波数帯域を用いて、該システム周波数帯域毎に送信データを送信するときの送信電力を制御する制御方法であって、

前記複数のシステム周波数帯域を用いて同時に前記送信データを送信するときの第1の最大送信電力が、一つのシステム周波数帯域を用いて前記送信データを送信するときの第2の最大送信電力よりも低くなるように低減量を設定するステップと、

前記第1の最大送信電力が、前記第2の最大送信電力を超えないように、前記第1の最大送信電力を制御するステップとを少なくとも含むことを特徴とする制御方法。